

第1回 ELSI委員会／第2回 AIと合意形成シンポジウム

【日程】 12月11日（月） 12:00-18:00
【会場】 名古屋工業大学 Nitech Hall

■第1回ELSI委員会

- 12:00-13:50
1. あいさつ (名古屋工業大学 教授 伊藤 孝行)
 2. メンバー紹介
 3. これまでの研究についての説明 (タマサート大学 准教授 浜田 良樹)
 4. 今後のシステム運用予定等 (名古屋工業大学 教授 伊藤 孝行)
 5. 同・運用計画に際してのELSI的課題について (名古屋工業大学 教授 秀島 栄三)
 6. 委員長・副委員長の選出

■第2回AIと合意形成シンポジウム

講演

14:00-14:30 名古屋工業大学 教授 伊藤 孝行
「AIと合意形成支援について」

特別講演

14:30-15:30 北海道大学 准教授 三上 直之
「ミニ・パブリックスの実験を通じた参加型民主主義の探求」
キーワード：ミニ・パブリックス、コンセンサス会議、討論型世論調査、世界市民会議、市民参加、熟議

特別講演

15:30-16:30 北海道大学 准教授 大沼 進
「合意形成を阻害する社会心理的要因とそれを克服するためプロセスデザイン」
キーワード：合意形成、手続き的公正、プロセスデザイン、市民参加

特別講演

16:30-17:30 名古屋工業大学 准教授 白松 俊
「市民共創知研究会について」

特別講演

17:30-18:00 はこだて未来大学 三浦 寛也



三上 直之（北海道大学高等教育推進機構／准教授）

1973年千葉県生まれ。東京大学大学院新領域創成科学研究科修了。博士（環境学）。北海道大学CoSTEP特任教員などを経て、2008年から現職。専門は環境社会学、科学技術社会論、科学技術コミュニケーション。コンセンサス会議や討論型世論調査などミニ・パブリックス型の市民参加の手法を実践しながら、日本社会におけるその活用可能性を探究してきた。著書に『地域環境の再生と円卓会議』（日本評論社）、『萌芽的科学技術と市民』（日本経済評論社・共編著）、『市民の日本語へ』（ひつじ書房・共著）など。

<http://d.hatena.ne.jp/nmikami/00000000>



大沼 進（北海道大学大学院文学研究科行動システム科学講座／社会科学実験研究センター）

1970年生まれ。名古屋大学大学院修了。博士（心理学）。(株)三菱総合研究所、北海道大学助手、富士常葉大学講師を経て、現職。専門は社会心理学、環境心理学。社会的ジレンマ、手続き的公正、信頼といった社会心理学的な観点から、市民参加による環境計画づくりやなどの研究に従事。また、環境配慮行動、リスクガバナンスの研究成果も多数。単著『人はどのような環境問題解決を望むのか：社会的ジレンマからのアプローチ』（ナカニシヤ出版、2007）。分担執筆多数。日本心理学会優秀論文賞を2度、第1回科学技術融合振興財団賞、日本シミュレーション&ゲーミング学会優秀賞などを受賞。

主催：国立研究開発法人科学技術振興機構 戦略的創造研究推進事業（CREST）
伊藤孝行代表 研究課題「エージェント技術に基づく大規模合意形成支援システムの創成」
共催：課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業（実社会対応プログラム）
私益と公益が錯綜する公共的意思決定のプロセスデザインに関する研究
後援：名古屋工業大学 コレクティブインテリジェンス研究所

<問い合わせ>
国立大学法人 名古屋工業大学 伊藤孝行研究室

E-mail: contact@itolab.nitech.ac.jp
Tel: 052-735-7968